

# 非定型実験の課題と定型実験のコンセプト

## 〈非定型実験の課題〉

- ① 宇宙実験を可能にする特殊なデバイス・装置の開発に時間を要する。
- ② デバイス・装置・宇宙実験は、高い信頼性と安全性が求められるため、段階的な準備・開発プロセスを踏み、研究提案の選出から宇宙実験実施までに時間がかかる。
- ③ 実験手法、デバイス・装置、解析項目が研究提案ごとに異なるため、結果を並列で比較しにくい。

## 〈定型実験のコンセプト〉

- ① 入手が容易な「市販の培養容器」を使用することで、宇宙実験をより身近にする。
- ② 定型的な実験装置（定型装置）を使用することで、提案ごとの装置開発および製作期間が削減・短縮され、装置の操作手順も定型化される。これにより、準備プロセスを簡略化し、提案選定から宇宙実験実施までの期間を短くする。
- ③ 定型装置を使用し、一部解析項目を一元化することで、研究提案間の結果比較を簡便にする。